（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター虹の家			
○保護者評価実施期間	R7年　1月　14日	～	R7年　1月　３１日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	74	（回答者数）	55
○従業者評価実施期間	R7年　1月　14日	～	R7年　1月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年　2月　１３日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団で様々な活動を行っていること	・遊びの発達段階によりクラス編制を行っている。子どもたちの状態に合わせた遊びの提供を行っている ・複数のクラスで一緒に遊ぶ時間を作り、大集団の経験をする機会を作っている	・様々な遊びや様々な友達と関わる機会を作るために、全クラス合同や子どもたちの入れ替えを行っての活動を取り入れていきたい
2	・生活や遊びの中で学ぶことを大切にしていること	・就園を見据えて、生活の流れを意識して過ごせるように、虹の家での流れを作っている ・様々な感情経験や実体験を通した学びができるように遊びを設定している	・職員自身も遊びを知るために、さらに外部の研修などに参加していきたい ・園の様子や流れを知るために、見学や研修する機会を作りたいと考えている
3	・親子で通園するクラスがあること ・保護者同士の繋がりがもてること	・保護者同士のネットワーク作りや職員への相談がいつでもできるようにしている ・保護者同士の情報交換の場や仲間作りができる場として、保護者会がある	・保護者会や保護者学習会の参加者を増やしていくために、告知の方法や内容を検討していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・発信力の弱さ	・虹の家児発内でのアナログ的な発信にとどまっていることが多い。	・SNSでの情報提供や活動の様子を発信することを始めた。内容については検討を重ねていく必要がある ・地域が必要としている情報の発信もできていけると良いと考えている
2	・環境整備への対応が遅くなる	・月に１回の職員作業の時間では足りないが、時間を作ることが難しい	・職員作業の係や職員一人ひとりが目を配り、掃除の時間に重点的に掃除をしてほしい所を伝えていく
3			